cloud-all

くらうどーる 連載11th

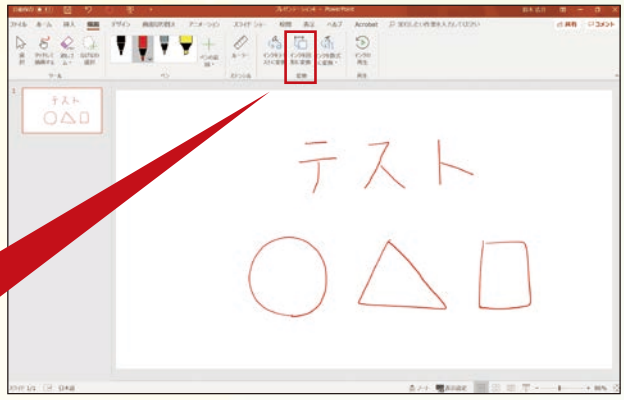
今日から話したくなるOffice 365の機能紹介

「Office 365」を提案する際に重要なのは普段の業務でどれだけメリットがあるのかを具体的に伝えること。サブスクリプション版である「Office 365」では、更新ごとに機能が増えていく。その中でも特にセミナーなどでお客様の反応が良い、営業時のデモでも使える機能を紹介しよう。

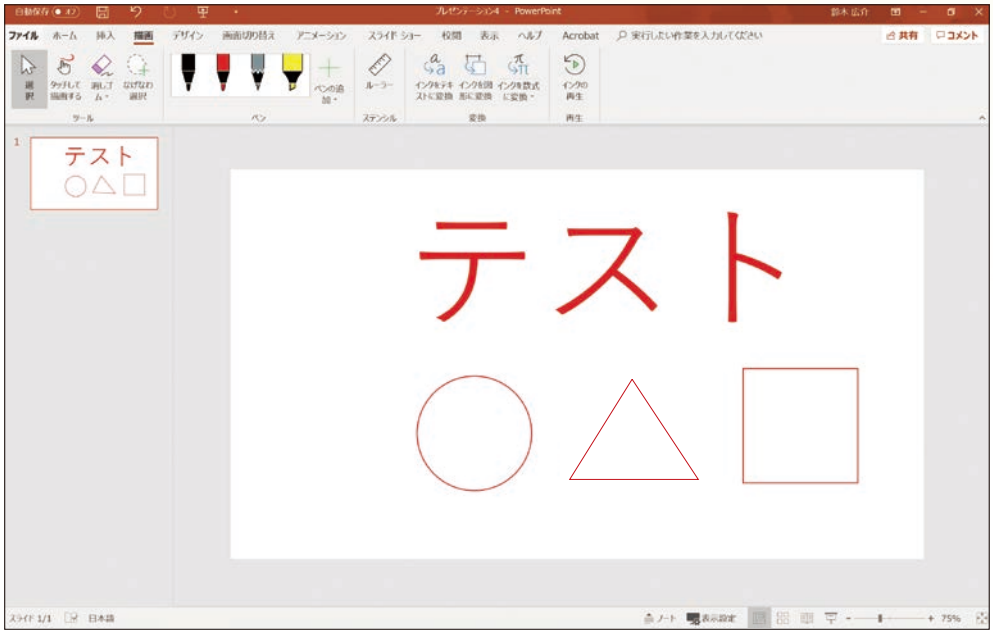
機能01 手書きの文字や図形がデータに変わる!

資料で図を書く際に、先にノートで手書きをしてからPowerPointの「図形」で作成している人も多いのでは。「Office 365」のPowerPointなら、手書きの文字や図形が一瞬でデータ化できる。その場で書いてデモをするなど、営業時にも使いやすい機能だ。

① 文字と図形を記入して選択



② 文字と図がデータ化された!

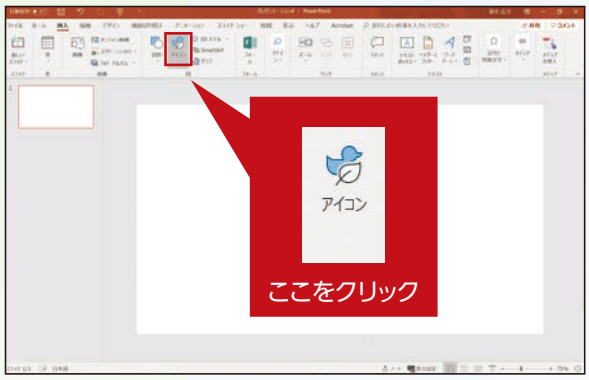


機能 02

面倒なアイコン探しが一瞬で終わる!

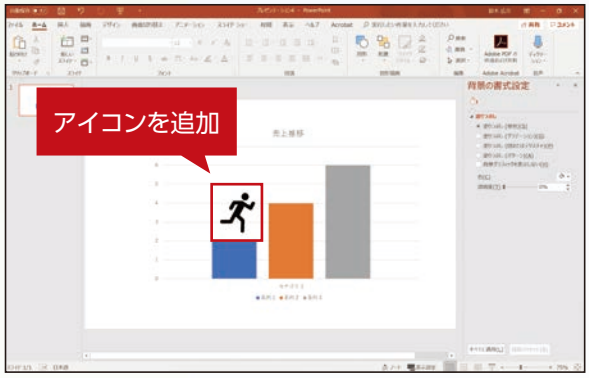
資料を作成する時、意外に時間がかかるのがアイコンなどの素材探し。Webで検索してようやく見つけ出しても、著作権に問題がある場合もある。Office 365には、自由に使えるアイコンが豊富に用意されている。素材を探す時間を省いて資料作成を効率化したい、というお客様に響く機能だ。

① 「挿入」から「アイコン」を選択

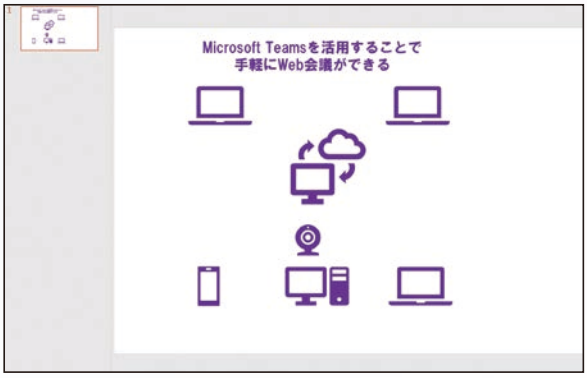


② 使いたいアイコンを選ぶ

③ 作成中のグラフに挿入

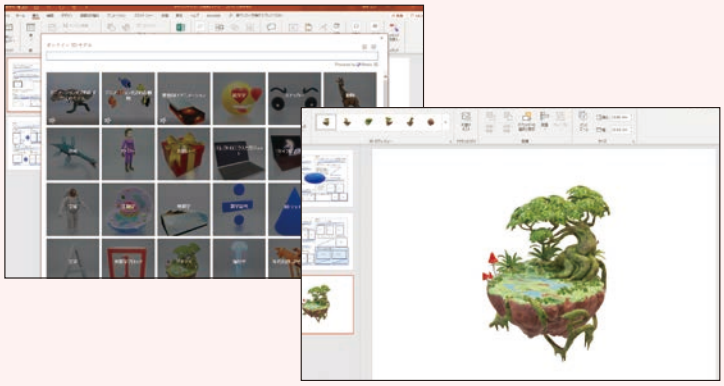


④ 構成図なども素早く作成できる



オンライン画像や3Dも利用可能

Office 365ではアイコン以外にオンライン画像や3D、アニメーションGIFなども用意されている。カテゴリーに分かれているため、素早い検索が可能だ。こちらはアイコンと違って使用の際に原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示するなどの条件がある。ただし、それらをクリアすれば、改変や営利目的での二次利用も許可されている。



機能03 AIが洗練されたデザインを自動で提案!

大事なプレゼン資料を作ったのに、デザインの部分で上手く決まらない、という経験をした人も多いのでは。Office 365ならAIが見栄えのするデザインアイデアを自動的に提案してくれる。画像と文字を配置すれば後はデザインを選ぶだけなので、誰でも洗練された資料を作ることができる。

① オンライン画像から選択して配置

② 右側にデザインアイデアが表示

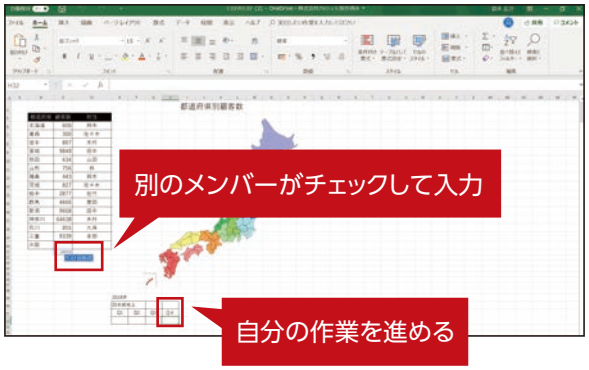
③ 選択すればデザインが完成

④「テーマ」と組み合わせればさらに洗練されたデザインに

機能04 共同編集で資料作りをスピードアップ!

Office 365のアカウントには、オンラインストレージの「OneDrive for Business」が標準で1TB提供されている。ここにプレゼン資料や報告書などをアップロードすれば、共同作業ができる。担当を分けて、分担して作業をすれば業務効率は大幅にアップする。

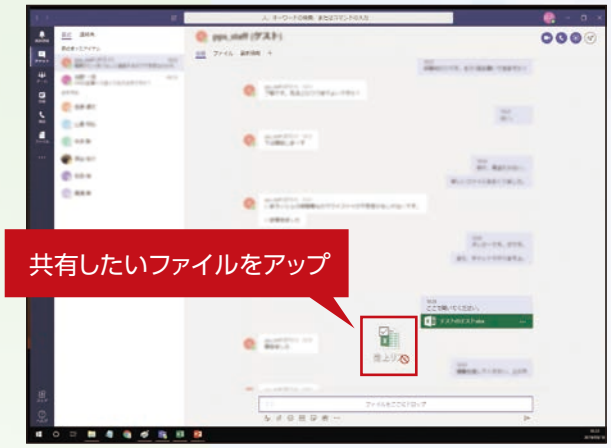
① 分担して作業を開始



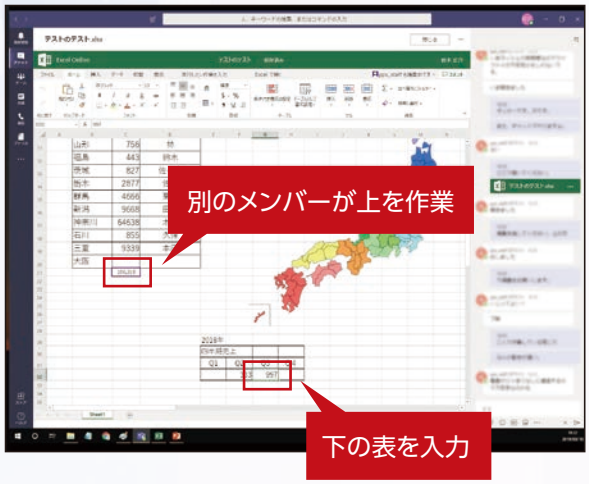
② @(メンション)でコメントがあると、メールが届く

Microsoft Teamsでもファイルの共同編集が可能だ。共有したいチームのチャットにファイルをアップすれば簡単に共有できる。さらにチャットやビデオ会議をしながら作業することも可能なため遠隔地のメンバーともスムーズな共同作業が実現できる。

① チャット上にファイルをアップする



② 別のメンバーが開けば共有開始!



Microsoft Teamsを利用するならOffice 365 Business Premiumが必須

Microsoft Teamsではデスクトップアプリケーションのまま共同編集ができるため、オンライン特有の待ち時間などがなく、スピーディーに作業できる点が特長だ。このMicrosoft Teamsの利用には、Office 365 Business Premium、あるいはOffice 365 Enterprise E3/E5の契約が必要になる。最大ユーザー数が300名以下のお客様であれば、Office 365 Business Premiumとなり1ユーザーごとの料金は月額1,360円。Officeアプリケーションは最大15台の端末にインストール可能であるため、会社と自宅、モバイルデバイスなど1ユーザーが複数端末を利用する場合でも安心であることをアピールしよう。

実践ソリューションフェア2019のくらうどーる大相談会が大盛況!

2019年2月に行われた実践ソリューションフェア2019のパートナー様向けブースで「くらうどーる大相談会～実績につながるクラウドビジネスの進め方～」が開催された。

当日は、これからクラウドビジネスに取り組みたい、というパートナー様から、契約はしたが社内展開ができていない、案件はあるが提案に自信がない、など様々な悩みを抱えるパートナー様が訪れていた。それに対して、くらうどーるの営業支援メンバーが時間をかけて丁寧に説明。また今回の傾向として、関西でも社内展開の方法や具体的な案件の話が増えるなど、全国的にクラウドビジネスが進んでいる様子だった。

なお、大塚商会BP事業部では**営業支援メンバーによるパートナー様やエンドユーザー様への勉強会、さらに営業同行も実施**している。困ったことがあれば、まずは相談してみてはいかがだろうか。